

令和6年3月27日開催 月形町義務教育学校基本設計（案）地域説明会 質疑等一覧

No	主なご意見等	町教育委員会の考え方
1	・ワークショップの意見はどこまで反映されたものですか。	<ul style="list-style-type: none"> すべての意見について一つ一つ検討を重ねています。ただし、相反する意見もあり、片方が立てば、もう片方が立たなくなるものもあります。 最終的には、開校準備委員会全体の納得できる形としてまとめています。
2	・基本設計（案）となっており、ここから更に変更となる可能性もありますか。	<ul style="list-style-type: none"> 現在、3月末までパブリックコメントを実施しています。また、関係機関との協議も並行して行っています。これらを受けて基本設計（案）を変更する可能性があります。なお、基本コンセプトについては変わらないものと考えています。
3	・図書室、コンピューター室、自習室は、メディアセンターに配置されているということでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> メディアセンターは、図書室、コンピューター室、自習室の3つの機能を兼ね備えたものとして計画しています。 無線LANの利用を可能とし、PCやタブレットなどを持ち込み、自習学習なども可能な空間として考えています。
4	・図書室は、学校図書室ではなく、地域の今ある図書館の機能も全部含まれた図書室になるのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の地域開放として計画しています。町立図書館につきましては、昨年2月策定の基本構想におけるパブリックコメントでの回答のとおり、地域拠点施設への設置を計画しています。 学校図書館と公立図書館である町立図書館の目的や役割も異なりますので、学校内に一体として設置することは困難と考えています。 なお、学校図書館につきましても、町立図書館と連携を図っていきたいと考えています。
5	・司書室に係る司書の配置はどのようになるのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> 司書を配置可能な施設整備計画としています。 実際の人員配置につきましては、予算の審議も必要になりますので、今後、協議していくこととなります。 今後、保護者の方のご意見などを伺いながら、放課後等の人員配置時間、自動貸出機の設置などを含め、総合的に検討していきたいと考えています。
6	・メディアセンターで、地域の人がPCを持ち込み、Wifiを利用することは可能でしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> 可能な計画としています。 実際の運用方法については、今後、検討していきます。 学校図書館の地域開放という位置付けになりますので、児童生徒、教職員の利用の妨げにならないような配慮も必要と考えています。
7	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちもすこく減っていく中で、地域で子どもたちを見守りましょうというコンセプトが書いてあったと思うが、今回の説明では、学校を優先して、地域で利用できるような感じを受けませんでした。 私自身は、子どもも成人して、学校とは関わりがありませんが、もし、義務教育学校ができれば、地域として関わりたいと思っています。 ただ、行く機会がないので、例えば、図書館を利用できるということであればと思いましたけれども、今回の説明だと難しいのかなと感じました。 学校とまったく関係のない世代がどのように関われるのか、構想を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」とおり、地域の交流や拠点となるような施設を目指したいと考えています。 一方で、実際に子どもを学校に通わせている親御さんからすると、見ず知らずの一般の利用者の方と自分の子どもが同じ学校の図書館を利用することについて、安全面において懸念する声も現実には聞かれます。 この双方の接点をどこで見出すかということが大きな課題となっています。 司書など有人の配置、顔認証カメラ等の最新セキュリティ機器の活用など、保護者の方々のご意見なども伺いながら、近隣自治体の状況も踏まえ、今後、検討していきたいと考えています。 10年、20年という長いスパンで考えたとき、学校の使い方や地域開放の度合というのは、どんどん変わってくると思います。そのような柔軟な運用方法が可能な仕組みとして検討しています。
8	<ul style="list-style-type: none"> 「地域に開放した学校」というコンセプトが、この義務教育学校のキーポイントになっている。懸念している状況は分かるけれども、ぜひ、拠点にしてください。 また、町の先行施設としての役割を果たしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 先の課題を解決し、できれば親御さんに納得していただき、交流できる施設を目指したいと考えています。 基本設計(案)9頁のとおり、スマートロックなど新セキュリティ機器もありますので、児童生徒の安全や安心を確保したうえで、保護者の方々に理解されるような仕組みを考え、一般開放を実現できればと考えています。
9	<ul style="list-style-type: none"> 屋根は無落雪タイプでしょうか。融雪タイプでしょうか。また、建物の雪対策はどのように考えているのでしょうか。 樋が詰まるというような心配はないでしょうか。 豪雪地帯で実際に運用されている建物は、このタイプでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋根は無落雪タイプとしています。無落雪タイプは雪が溜まり雪庇はできやすくなりますが、笠木に雪庇防止金物を取り付けることで、雪庇をできにくくし、できたとしても切れやすくしたいと考えています。融雪タイプについては、ヒーターのランニングコストが掛り、漏電の危険性もあります。メンテナンス性なども考慮して、無落雪タイプとしています。 また、玄関の上には、大きな庇を設けており、3階から万が一落雪があったとしても、玄関に直撃せずに庇によって守られる構造としています。 排水に係るルーフドレンにはヒーターを設置する計画としています。 豪雪地帯では、ほとんどが今回提案したタイプの建物となります。
10	・特別支援学級の前期、後期とはなんのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> 前期が小学校相当、後期が中学校相当になります。

令和6年3月27日開催 月形町義務教育学校基本設計（案）地域説明会 質疑等一覧

No	主なご意見等	町教育委員会の考え方
11	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども園の保護者ですが、今回のチラシを見て、はじめてワークショップを開催していたことを知りました。私も参加してみたかったのですが、子ども園にあまり情報が来ていません。 ・この学校に通う子どもたちは、現在の子ども園に通っている子どもたちになると思います。もっと子ども園に情報をお知らせしていただけたらと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、I P告知端末機及び町のホームページを公式なお知らせ手段としています。 ・今回のワークショップにつきましては、一般の方にも広く募集するという観点から、I P及びホームページにより周知を行いました。 ・今後もI P及びホームページで周知を行っていきたくて考えておりますので、ご理解をお願いします。 ・なお、今回のワークショップには、子ども園の保護者代表の方にも加わっていただき開催しています。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育施設が入っていないという話を聞きました。最初の説明では学童保育があるような話だった気がしますが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年2月に策定しました基本構想では検討としており、現在、学校敷地内に学童保育施設の敷地を確保する計画としています。 ・学校建設にあたっては、除雪、ゼロカーボン、学童保育など、様々な関連事項について関係部署が集まって情報共有し、継続的に協議を重ねています。 ・学童保育施設につきましては、縦割りで申し訳ありませんが、現在、教育委員会として申し上げられる状況にありません。 ・学童保育施設担当部署で、鋭意検討を進めているところかと思っておりますので、お待ちいただければと思います。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の観点から、アリーナに避難することを考えると、炊事や水場となるキッチンスタジオ(家庭科室)は、同フロアとして1階にあるべきではないかと思いますが、いかがでしょうか。 ・また、避難者が2階へ行く際に、地域開放側にエレベーターがありません。どのような考え方になりますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キッチンスタジオにつきましては、当初、1階も検討しました。学校の建物は、職員室や保健室など、1階への配置を重要視されるものが多くあります。避難所としての活用や頻度を総合的に考慮して2階としました。その中にあっても、アリーナに隣接し、活用しやすい場所としています。 ・エレベーターにつきましては、当初、地域開放側にも、もう1台追加して2台という案もありました。利用頻度や維持管理コストを総合的に勘案し、最終的には児童生徒側に1台としています。 ・なお、避難者でエレベーターの利用が必要な場合は、児童生徒側のセキュリティを一時的に解除して、利用してもらうことを想定しています。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐ2歳になる子どもがいます。実際に私たちの子どもが通う学校をつくっていくということで、まちの皆さんで考えていただいております。すごく興味があります。計画を見させていただき、いろいろと思うところもあり、すごくワクワクする学校になるのではないかと期待感もあります。 ・資料の中には、当初の建設に係る比較検討の中で3つくらい候補があったかと思いますが、中学校を壊して、そこに新しい学校を建てるということで間違いないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いありません。新しい校舎を建てて、現在の中学校の校舎を解体し、建て替えとなります。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の建設に係る比較検討において、初期投資はありましたが、ランニングコストはどのように考えているでしょうか。今は、学校が二つあり古いと思うので、これが新しい学校になると、吹き抜けなどもあります。ランニングコストはどのように変化するのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニングコストにつきましては、新しい学校は、ZEB Ready基準の建物を計画しています。一次消費エネルギーは基準の50%削減となりますので、かなり熱効率のよい建物になると考えています。 ・実際には、現在のように二つの学校を維持するよりも、修繕費や消耗品などを含めると、単純に半分とはいきませんが、相当程度、落ちるのではないかと考えています。 ・実際に運用してみなければ分かりませんが、ZEB Ready基準の環境に配慮したコンパクトな建物と考えています。